

測定結果報告書

2022年11月29日

依頼者:株式会社△△△
◇◇ ◇◇◇ 様株式会社 CLAY Lab
〒518-0131
伊賀市ゆめが丘1丁目3番地3
ゆめテクノ伊賀
TEL: 0595-41-1076
e-mail: info@clay-lab.com受付日: 2022年11月22日
試験実施日: 2022年11月28日

【測定結果】

検体	塵量	Der p 1量	Der f 1量	Der 1量
CL前	141.2	67.0	52.8	119.8
CL後	19.3	0.39	0.18	0.57

mg μg/g 塵 μg/g 塵 μg/g 塵

サンプル: クリーニング前(CL前)およびクリーニング後(CL後)の布団より回収した塵

試験方法概略: 集塵袋の下部を切り離して重量を測定し、風袋重量を引いた重量を回収微細塵重量とした。CL前は充分量の微細塵があったことから、10mgをマイクロチューブに測り取り、1mLの抽出液を添加し、抽出作業に供した。CL後は微細塵量が少なかったことから、集塵袋下部を15mLの遠心チューブに入れ、5mLの抽出液を添加し、抽出作業に供した。抽出作業は、室温で一晩緩やかに浸透させた後、液層を回収し、遠心分離にて不溶物の除去を行った。

アレルギーの測定は、ヤケヒョウヒダニ アレルゲン(Der p 1)およびコナヒョウヒダニ アレルゲン(Der f 1)をそれぞれ特異的なELISA(酵素結合免疫吸着アッセイ)で行い、微細塵1g中の各ダニアレルゲンを算出した。また、Der p 1およびDer f 1を合計して、ダニアレルゲン(Der 1)とした。

結果要約: 上記表に詳細な値を記した。クリーニングにより、塵量は1/7に、アレルギー量はおよそ1/210にまで減少した。

コメント: 世界保健機関(WHO)では、微細塵1g中に2μg以上でアレルギーに感作(アレルギー体質)し、10μg以上で喘息の発作を誘発するとしている。これに対し、今回のサンプルのクリーニング前(CL前)のサンプルには微細塵1g中に100μg以上のダニアレルゲン(Der 1)が検出され、アレルギー疾患のリスクが非常に高いことが強く示唆された。これに対し、クリーニング後(CL後)のサンプルにはDer 1は1μg/g以下と微量しか検出されなかった。このことから、クリーニングを行うことは、アレルギーの発症だけでなく、アレルギー体質の予防にも有効であるとが示された。